

橿原考古学博物館・環濠集落今井町見学

橿原考古学博物館は1938年より奈良県の遺跡調査をてがけてきました。常設展示では、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、飛鳥・奈良時代、平安～室町時代の遺跡から出土した考古資料を時代別に展示しています。日本考古学を代表する奈良県出土の実物資料をとおして「目でみる日本の歴史」をご覧ください（展覧会のご案内から）

守られてきた伝統を今に伝える一奇跡の町今井町－戦国時代に織田信長と戦ったまち今井町赤い橋を渡るとそこでは歴史ある街並みです。重要文化財に指定されているお宅を見学します。

実施日：2024年1月19日（金）

行き先：橿原考古学博物館と環濠集落今井町見学

集合：橿原神宮駅 10時

参加者：小林、菊池、長谷川、梶木、高城

行程：

橿原考古学博物館	10:20～11:40
橿原神宮の近くで食事	12:20～12:50
八木西口 案内にと合流	13:20
今井町見学	13:40～15:30
八木西口解散	16:30



1、橿原考古学研究所

常設展示では発掘調査で出土した物を時代別に展示されています。随所に説明モニターで解説者の説明がついていて、なかなか次に進めませんでした。欲を言えば、座って解説が見れるコーナーを作ってもらえればと思いました。今回は混雑していなかったので自由に見ることが出来ました。



2、今井町

橿原市観光ボランティアガイド 柳村さんに案内して頂きました。

<コース>

今井町まちなみ交流センター→高木家→河合家（河合酒造）→称念寺→今西家→
豊田家→檀原市役所分庁舎（付近眺望見学）

<感想等>

1. 重要文化財に指定されている民家を4軒見学したがガイドはすべてお住いの方から説明を受けた。今西家は元奉行所で当時の裁きの場が残されている。また、重要文化財に住むことの誇りと大変さについても説明を受けた。
2. 秀吉が吉野からの帰りに立ち寄ったとか 明治天皇が馬車で通られたとか秋篠宮さんが来られたとか 映画の撮影で岡田准一が駆け下りたとか注目されるネタの多いところであった。それだけ見るところ満載なのであろう。
3. 今井町は商業自治都市として大いに栄えた街であったが歴史の荒波にももまれてきておりそれを辿ることによって多くの教訓が得られるのでなかろうか。その意味でも歴史を踏まえつつ新たな魅力ある街作りを期待したいものである。
4. この旅の最後は 檀原市市役所分庁舎の10階展望台に上り、今歩いてきた今井町や飛鳥や三輪山を望んでお開きとなった。1万5千歩お疲れさまでした。



(記録：高城 写真：小林)

